

キシヨウブ

トトロの映画で

初夏に鮮やかで大きな黄色い花を咲かせるキシヨウブ。町内の河川や湿地によく見られます。映画「となりのトトロ」で、カンタくんとサツキちゃんが初めて出会うシーンには、ちょうど2人の間に咲いているキシヨウブが、花弁の脈まで繊細に表現されています。美しく目立つ風貌で川

岸を彩りますが、実はこの花、「外来生物法」で要注意外来生物に指定されています。

明治時代に入国

キシヨウブは、ヨーロッパ原産で百年ほど前に鑑賞用として導入されました。現在、全ての都道府県で生育しています。乾燥に強く繁殖力も高く、種は水や風によつて運ばれます。人が管理している公園や畑などで、逸脱しないように栽培鑑賞することは問題ありませんが、この十年くらいで自生の株が町内の各水系で年々増殖している様子が伺えます。問題は、細い水路で育った株が流れを滞らせることや、同じアヤメ属の希少種と遺伝子攪乱を起す恐れもあると指摘されています。また他の湿性植物の生育も妨げるとされ、管理されている場所以外では、逸出を起さないように取り扱いに注意することが求められています。

もはや原風景に

以前、橋の上で出会ったお

ばあちゃんがこんなことを言っていました。「若い頃は、黄色じゃなくて紫色のショウブがよお咲いておったで。」

これはカキツバタやアヤメのことでしょう。自然の水辺に紫のアヤメの仲間が咲いている風景を知らない世代にとつて、もはやキシヨウブは生まれた頃から見慣れた原風景の花になるかもしれません。

増え過ぎにさせない

この先、野外でキシヨウブが増え続けたら、オオキンケイギクのように栽培、販売、移動などが禁止される特定外来生物に格上げされてしまう恐れもあります。逸脱株の管理も地域単位で取り組むことを推奨します。きれいだから、かわいいから、見栄えがいいから、という表面だけの付き合いではなく、それぞれの生き物たちの背景を見据えて、よき折り合いを構築していければと思います。

自然観察指導員 桐原真希



法勝寺にて
要注意外来生物

(撮影：桐原真希)

祐生会いの館【緑水湖畔】 ■休館日：毎週火曜日(火曜日祝日は翌日) ■問合せ先：☎66-4755

『祐生蒐集の始期—絵馬・盃(さかずき)・絵葉書展』
4月12日(土)~6月9日(月)

祐生収集は絵葉書から始まりました。高等小学校を卒業した時は絵葉書ブームでした。以後出会う人々から感化を受け、収集の範囲が広がっていきます。



『出逢いの中の彫刻と絵—石川惣吉回顧展』
4月26日(土)~7月7日(月)

光陽会、県・米子市美術家協会、チャールズ会等で活躍した故石川惣吉氏の彫刻と絵画を展示します。石川ブルーと呼ばれる静かな表現をご鑑賞ください。

